家畜衛生情報

飛騨家畜保健衛生所
令和８年11月16日

長崎県の農場で ランピースキン病が続発！

【発生状況】

11月 6日	対馬市	4頭	（飼養頭数 14頭）
11月11日	五島市	2頭	（飼養頭数 46頭）
		1頭	（飼養頭数 160頭）
		1頭	（飼養頭数 168頭）
11月12日	五島市	2頭	（飼養頭数 146頭）

【今後の対応】

・疑似患畜の殺処分
・当該農場および半径5㎞以内の牛飼養農場へワクチン接種予定

LSDについて（農林水産省）
詳しくはこちら

発生予防・まん延防止のために

症状など

- 発熱、四肢の浮腫、多数の皮膚結節
- 主に吸血昆虫（蚊、サシバエ、ヌカカ、マダニ等）が伝播



（写真：福岡県HP）

ウイルス侵入防止

- 消毒の徹底（逆性石鹸など一般的な消毒薬が有効）
- **吸血昆虫の駆除**（殺虫剤、粘着シートなど）
- 車内に入り込んだサシバエ等の殺虫
- 衛生管理区域専用の衣服・長靴着用の徹底

感染拡大防止（詳細は裏面）

- **皮膚の結節、発熱、泌乳量の低下**など疑わしい症状が見られたら
  当該牛を隔離し**生きた牛の移動を自粛**して
  すぐに**診療獣医師または家畜保健衛生所へ連絡**

家畜に異状があれば、すぐに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）
〒506-8688 高山市上岡本町7－468　E-mail：c24508@pref.gifu.lg.jp
TEL：0577-33-1111（内線403）　FAX：0577-32-9019
※閉庁時には案内メッセージに従って対応をお願いします。

飛騨家保
家畜衛生情報は
こちら⇒

ランピースキン病の感染拡大防止！

MAFF 農林水産省

2026年11月1日に、**国内で２年ぶりに発生**が確認されました。

牛の伝染病で、主に**サシバエ等の吸血昆虫が感染を拡大**するため、昆虫対策が重要です。また、通報が遅いと考えられる事例が確認されています。疑わしい場合、すぐに通報することが大事です。

対策１　毎日の健康観察

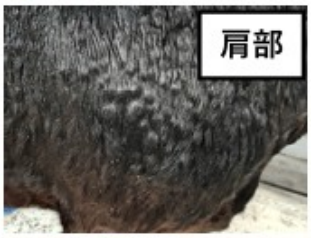
早期発見・早期通報により、被害は大きく低減します。
丁寧に飼養牛を観察するとともに、**疑わしい牛は直ちに通報**しましょう！

疑わしい症状

食欲減退、発熱、
歩様異状、皮膚の結節
泌乳量の低下

最寄りの家畜保健衛生所に通報！







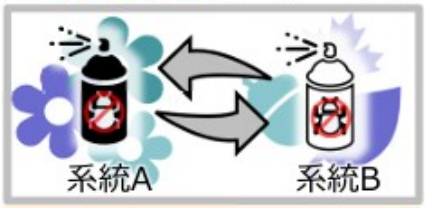
対策２　害虫の駆除

成虫対策と幼虫対策は両方行いましょう！

成虫対策には、**殺虫剤**ローテーション！**防虫ネット**の設置！



サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！



地面や床から２ｍは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！

幼虫対策には、**堆肥**等の管理！**IGR剤**の散布！

堆肥の切り返しは
隅々まで！

牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



対策３　清掃・消毒

車両や人がウイルスを運ばないように、出入りする際の**洗浄・消毒**！
車両は殺虫も！**注射針、人工授精用器具**等の**一頭ごとの交換・消毒**！

写真協力：鹿児島県内酪農家、(独)家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社